

令和4年度 第4回 みどりっ子育成協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和5年2月16日(木) 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 新原小学校 パソコン室
- 3 出席委員 平松 昇、 田口 純奈、 大橋 基文、 平野 久和、
平野 恵子、鈴木 利明、 嶋田 ゆかり、 クリステンセン 勇美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 椛 通安(亀玉協働センター職員)
- 6 学 校 木下 健(校長)、 池野 由香里(教頭)、 古宮 康子(教務主任)、
源馬 達也(生徒指導主任)、 服部 美保(CSディレクター)
- 7 教育委員会 小川誠司(教育総務課)
- 8 傍聴人 なし
- 9 協議事項
 - (1) 議長選出
 - (2) 学校いじめ防止基本方針について
 - (3) 学校評価の結果を受けた令和5年度の教育活動について
 - (4) 令和5年度学校経営方針について
 - (5) 夢育やらまいか事業の報告について
 - (6) 創立150周年について
 - (7) 学校支援コーディネーターより
- 10 会議録作成者 服部 美保(CSディレクター)
- 11 会議記録

(1) 議長選出

司会の嶋田委員から、議長の選出について出席委員に意見を求めたところ、平松会長を議長に選任することについて、全員異議なく承認した。

(2) 学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、源馬生徒指導主任から、学校いじめ防止基本方針について説明があった。いじめの全国ニュースをきっかけに、浜松市としても学校いじめ防止基本方針を見直し、それに伴い本校でも全教員で見直し、協議を行った。方針の中の地域や家庭の役割という項目について、委員に意見を求めた。

委員から以下の発言があった。

- ・「学校運営協議会を活用する」とあるがどういうことか。例えば自分の子がいじめられていたらまずどこに行けば良いのか？具体的にどのような手順を踏めば良いのかわかりづらい。(田口委員)
- ・家庭の役割として「子供にとっての家庭はありのままの自分を出すことができる安心できる場です。」と書いてあるが、現実とはかけ離れているなというのが正直な感想。お母さんの前ではお利口さんという子が多い。外での様子は高学年ほどわかりづらくなる。(田口委員)
- ・方針では、家ではそうあってほしいという願いを込め書いてある。(池野教頭)
- ・昔の子供は家では言いたいことが言える内弁慶が多かった。今は逆のことが多い。良い子でいるということは親に気を遣っているということ。「ありのまま」の意味が伝わるようにした方が良いと思う。(木下校長)
- ・方針の中で「保護者がいじめについて学ぶ機会を設ける」とある。学校で保護者にいじめがどれだけ危険なことか伝えた方が良いと思う。インターネット環境については最初

が肝心だと思う。(田口委員)

- ・学校単位でできることには限界があると思う。教育委員会の力が必要かもしれない。(平松会長)
- ・この先の具体的な行動プランはあるのか。(平野久和委員)
- ・各学期に実施していた生活アンケート(いじめアンケート)を来年度は毎月実施する計画。年間指導計画は状況を見ながら毎年見直していく。(古宮教務主任)
- ・方針としては良いと思うがどのように取り組んでいくのか。(平野久和委員)
- ・子供達に対しての教育はできるが家庭に対しては難しい。機会があるごとに言うほかないと思う。(大橋委員)
- ・学校、地域、家庭で情報を共有し連携していく必要がある。その都度情報発信しながら家庭からの情報も交換し子供達を見守っていかないと、いじめはなくなる。時間と労力はかかるが。(木下校長)
- ・学校いじめ防止基本方針の作成には委員の方から意見をいただく段階。2月末までに完成し3月には学校のホームページに載せたいと考えている。内容は確定ではなく常に見直しを図っていく。具体的な内容(いじめが起きないためにはどうすれば良いか、いじめが起きたときどうすれば良いか。)の対応策はその地域の特性に合った形で時間をかけて考たい。(教育総務課小川氏)
- ・資料の中に「はままつマナー」というワードがあるが、わかりづらいワードが出てきたら説明をつけてくれると良いと思う。(平松会長)

(3) 学校評価の結果を受けた令和5年度の教育活動について

古宮教務主任から、令和5年度の教育活動について別紙資料により説明があった。

来年度の教育活動はコロナ前の状況にだいぶ戻ってくる。参観会を全体で実施し、家庭訪問は希望制で実施。プロの演奏家を呼んで行う学校コンサートも予定している。

委員から以下の発言があった。

- ・来年度、バザーは実施するのか。(田口委員)
- ・明日のPTA理事会で来年度の行事を決定する予定。バザーは今までと違う形で実施するかもしれない。資源回収については今後継続的に状況を見て決めていく。学校によっては地元企業に声掛けをして資源物を集めていると聞く。(鈴木委員)
- ・中学校から資源回収物の量が減ったと聞いた。企業に声掛けをするのは良いと思う。(大橋委員)

(4) 令和5年度学校経営方針について

木下校長から、令和5年度の教育活動について別紙資料により説明があった。内容の承認については来年度初めの協議会で行うことを確認した。

委員から以下の発言があった。

- ・ソーシャルスキルが欠けている人が目立つということが企業でも問題になっている。あいさつができない、何か問題が起きるとすぐに心が折れてしまう、そういう人が目立つ。ソーシャルスキルとは、社会的な人間関係を上手に作っていきけるスキル(技能)のこと。そのためには小学生の時期にあいさつができると良いと思う。発達段階に応じたスキルの付け方を学校・地域・家庭皆で力を合わせて勉強したいと思う。(平野久和委員)
- ・学校と家庭の連携が大切。今年度、家庭教育講座を2回実施した。9月に1年生の保護者全員を対象に、2月には入学説明会で新入学児童の保護者に「早寝早起き朝ごはん」をテーマに講座を開いた。朝のあいさつについては、通学班リーダーの大切さを

感じている。通学班が一番地域の人に見てもらえる子供の姿だと思う。自己肯定感が低い子が多いのも気がかり。障害を乗り越えるためには褒めるだけでは難しいが、まず教員にはなるべく褒めるようにと話している。失敗しても次の一歩を踏み出せるような子になって欲しい。そのためにも持久走記録会は行事として残したい。走り切るという経験がこれから先に生きると思う。(木下校長)

(5) 夢育やらまいか事業の報告について

池野教頭から、別紙資料を参考に夢育やらまいか事業の報告があった。

(6) 創立150周年について

木下校長から、新原小学校が令和6年度に創立150周年を迎える旨の説明があった。内容について全委員で方向性を話し合った。

(7) 学校支援コーディネーターより

議長の指示により、クリステンセン委員から活動報告があった。今年度新たにクラブ活動へのボランティア参加ができ、子供たちにとっても良い刺激になった。

その他

大橋委員、田口委員、鈴木委員から退任の挨拶があった。